

「古典の日」について

『源氏物語』は日本の古典であり、世界の古典である。「11月1日・古典の日」は、2008年の源氏物語千年紀で宣言され、「古典の日に関する法律」で正式に制定された記念日です。「人間とは何か、生きるとは何か」との永遠の問いに答えてくれる、数智の結晶である古典に親しみましょう。

〈特設会場〉

11月1日(金)

「古典の日フォーラム2024」

惟光

※「古典の日フォーラム」にご参加いただくには入場券が必要です。すでに購券は締め切っておりますので、ご了承ください。



12 どうし 東寺

住所・連絡先
〒601-8473 京都市南区九條1 TEL 075-601-3325
交通アクセス
京都市バス(18)南18(42)71(南71)1207(南御門駅)
(14)18(南18)19(4)2179(2)202(208)南御門駅1(16)南御門駅下車すぐ



桐壺

スタンプ設置場所:
拝観受付
スタンプ設置時間:
8:00~17:00
景品交換:不可

地下鉄・バス
1日券がお得!



ちゅう源氏と巡るっ!

源氏物語

The Tale of Genji KYOTO Stamp Rally!
京都スタンプラリー

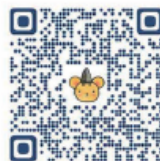
日時:2024年10月26日(土)27日(日)11月2日(土)3日(日)4日(月・祝)

スタンプを3つ集めて
景品をGETしよう!

景品交換場所:下鴨神社・上賀茂神社・
天龍寺・蘆山寺・清水寺・渉成園

The English website!

〈英語ホームページ〉
右の2次元コードから
英語ホームページへアクセス!



さよう と ご しょ

京都御所

住所・連絡先
〒602-0811 京都市上京区御所南1 TEL 075-211-1215
交通アクセス
京都地下鉄丸太町線(山科)下車、6番出口より徒歩5分
京都バス(1)丸太町山科(1)下車、6番出口より徒歩5分
京阪本線(山科)下車、3番出口より徒歩25分

平安時代の御所(内裏)は、現在の場所から1.7kmほど西にあった。平安時代の建築様式で再建された御殿が多く、当時の面影を感じることができる。朝廷の重要な儀式が執り行われた紫宸殿や、天皇が日常を過ごした清凉殿が有名である。『源氏物語』においては、光源氏の元服が清凉殿で行われた。光源氏の母である桐壺更衣は身分が低かったが、桐壺帝の寵愛を受けて光源氏を産んだ。京都御所は、『源氏物語』の始まりの場所である。

参観時間:【公開時間】9:00~15:20 最終退出16:00(10月~2月)が10月~2月以外が公開時間は、上記となります。
参観料 無料

1 さよう と ぎょ えん 京都御苑

住所・連絡先
〒602-0811 京都市上京区御所南3 TEL 075-211-6348
交通アクセス
京都地下鉄丸太町線(山科)下車、6番出口より徒歩5分
(御所南駅、山科駅、京都市営バス(御所南)下車すぐ)
京阪本線(山科)下車、3番出口より徒歩5分
(丸太町駅、山科駅、山科駅下車すぐ)

京都御苑は、平安時代には平安京の最東部に位置していた。中世に御所がこの地域に移ってから御所をとりまく公家町があった場所である。江戸時代では140以上の公家や富家の屋敷が立ち並ぶ町があった。明治維新後に都が京都から東京へ移ったことで、現在は公園として整備されており、四季折々の自然が楽しめる。また、現在の京都仏教博物館の北には土御門宮跡があり、そこは平安時代、源頼朝の邸宅があった。紫式部が仕えた中宮・彰子の出産もそこで行われた。『紫式部日記』に記されている。連長が栄華を極めた頃、光源氏を主人公にした『源氏物語』が誕生する。

ちゅう源氏

スタンプ設置場所:
閑院宮御跡収納展示館
スタンプ設置時間:
9:00~16:00
参観料:無料
景品交換:不可

主催:京都府立嵯峨野高等学校 京・平安文化論ラボ
「ちゅう源氏と巡る源氏物語京都スタンプラリー」実行委員会
監修:京都先端科学大学教授 山本淳子先生 イラスト:ながたみどり先生
後援: 文部科学省 古典の日推進委員会 京都府



済



これで
あなたも
ちゅう源氏
マスター!

景品交換は完了しました!

必ず1人1冊をお願いします。

謝辞

「ちゅう源氏と巡る 源氏物語 京都スタンプラリー」にご参加いただきまして、ありがとうございます。皆様からの温かいご支援により、今回も開催することができました。古典の魅力をより多くの皆様にお届けできるように、今後も精一杯取り組んでまいります。本当にありがとうございました。

京都府立嵯峨野高等学校「京・平安文化論」ラボ一同
最新情報 @kyo_heian_lab0 kyo_heian_lab0
お問い合わせ 京都府立嵯峨野高等学校 075-871-0723





2 しも かも じん じゃ
下鴨神社
住所・連絡先 〒616-8067 京都市左区下鴨(東山側)59 TEL 075-781-0010
交通アクセス 京阪本線(下鴨)下車徒歩約5分
QRコード

下鴨神社の正式名称は賀茂御祖(かもみおや)神社。上賀茂神社と合わせて「賀茂神社」と総称され、京都の中心部を流れる賀茂川の downstream に祀られているというところから、「下鴨さん」や「下鴨神社」と呼ばれている。源氏物語第9帖「葵」で、葵の上と六条御息所の争いの舞台となった葵祭は賀茂神社の祭礼である。第12帖「須磨」では、光源氏が須磨に下る前、下鴨神社で「豊かき世をば今ぞ別るとまらむ 名をば乱の神にまかせて」という歌を詠んでいる。

六条御息所

スタンプ設置場所:
授与所
スタンプ設置時間:
9:00~17:00
景品交換:可



7 の み や じん じゃ
野宮神社
住所・連絡先 〒616-8393 京都市中京区野宮(東山側)1 TEL 075-671-1072
交通アクセス 京阪本線(野宮)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
QRコード

野宮は昔、天皇の代理で伊勢神宮に仕える素王が伊勢に行く前に一年間身を清めたところ。嵯峨野の清らかな場所を選んで建てられ、黒木鳥居と小乗壇に囲まれた聖地であった。野宮の場所は一定せず、現在の野宮神社はその跡地とされる場所の一つである。源氏物語には、第10帖「賀木」に、光源氏と六条御息所の別れの場所として登場し、晚秋の嵯峨野を舞台にした、物語中屈指の名場面である。

秋好中宮

スタンプ設置場所:
授与所横
スタンプ設置時間:
9:30~16:00
景品交換:不可

3 かみ が も じん じゃ
上賀茂神社
住所・連絡先 〒603-8047 京都市北区上賀茂(東山側)330 TEL 075-781-0011
交通アクセス 京阪本線(上賀茂)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
QRコード

677年(天武天皇6年)、賀茂神宮が現在地に造営されたことが始まりである。桓武天皇による平安京への遷都以降は、皇城鎮護の神として、歴代の天皇が行幸された。上賀茂神社の正式名称は「賀茂別當神社」。古より多くの人々に崇敬されており、平成6年には、境内全域がユネスコ世界文化遺産に登録された。源氏物語第9帖「葵」で葵の上と六条御息所が行行列を見る際に争う場所と争いを起こした葵祭は、上賀茂・下鴨神社の祭礼である。また、作者の紫式部が境内の「片岡社」で和歌を詠んだと言われている。

葵の上

スタンプ設置場所:
楼門内授与所
スタンプ設置時間:
8:00~16:30
景品交換:可



8 てん りゅう じ
天龍寺
住所・連絡先 〒616-8385 京都市中京区天龍寺(東山側)68 TEL 075-881-1235
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
QRコード

1339年(暦応2年)、後醍醐天皇の菩提を弔うために創建された。造営費用のため、元との貿易を再開し、その利益を充てることになり、これが「天龍寺船」の始まりである。1345年(康永4年)の落度後度重なる8度の大火に見舞われるが、その都度復興され、1876年(明治9年)には、臨濟宗天龍寺派大本山となった。かつて境内は嵐山地域の広範囲に及んでいた。「源氏物語」で明石の御方々が上京後と住んだ大塚の邸宅は、この近辺の桂川畔と考えられている。

明石の君

スタンプ設置場所:
売店
スタンプ設置時間:
8:30~16:00
景品交換:可



4 うん りん いん
雲林院
住所・連絡先 〒603-8214 京都市北区野村町23 TEL 075-431-1561
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約1分
京福線(山王)下車徒歩約1分
京福線(山王)下車徒歩約1分
京福線(山王)下車徒歩約1分
QRコード



もともとは淳和天皇の離宮として創建され、869年(貞観11年)に僧正通昭を招いて雲林院という官寺となった。歴史物語『大鏡』に登場する菩提講が有名で、大鏡は、この菩提講で出会った老翁の昔物語という展開で話が進む。当時は、失意の歌人たちが集って歌を詠んだ場所でもあり、源氏物語では、第10帖「賀木」で、藤原中宮から冷たくされた光源氏が、失意の内に籠る場所として登場する。雲林院の近くには、「紫式部の墓所」と伝えられる場所がある。

藤壺

スタンプ設置場所:
玄關付近
スタンプ設置時間:
9:00~17:00
景品交換:不可



9 ろ ざん じ
廬山寺
住所・連絡先 〒602-0852 京都市上京区西門外(山王)397 TEL 075-231-0355
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
QRコード

廬山寺は天慶年間(940年頃)に船岡山の南に創建された興隆金剛院に始まる。1245年(寛元3年)法然の弟子覚海が出家路に廬山寺を開山し、この二ヶ寺を兼務し、明導照源が統合した。応仁の乱などにより幾度か焼失後、1573年(天正元年)に現在地に再興した。当時は、紫式部の曾祖父の中納言藤原兼光から伯父の為頼に伝えられ、父の幼少を始めた紫式部一家も住んだ広い邸宅であった。この邸宅で藤原源光と結婚生活をおく一人娘の賢子(大式三位)を育て源氏物語を執筆した。

紫の上

スタンプ設置場所:
拝観受付付近
スタンプ設置時間:
9:00~16:00
景品交換:可

5 にん な じ
仁和寺
住所・連絡先 〒616-8022 京都市南区九条町33 TEL 075-461-1155
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
QRコード

現在、真言宗御室派の総本山である仁和寺の創建は、平安時代の第58代光孝天皇が、西山御願寺として着工されたことに始まる。創建は宇多天皇、広大な境内はユネスコの世界文化遺産に登録されている(平成6年)。また、仁和寺御所庭園は、令和2年に国営御所庭園に指定された。宇多天皇は紫式部の曾祖父の義兄弟にあたる。また、源氏物語第34帖「若菜上」で、朱雀院が女三の宮を光源氏に託し、自身は「西山なる御寺」に出家するのだが、その御寺が仁和寺といわれている。次世代への文化支援として高校生以下拝観料無料

朱雀天皇

スタンプ設置場所:
拝観受付横
スタンプ設置時間:
9:00~16:30
景品交換:不可



10 せよ みず であ
清水寺
住所・連絡先 〒605-0862 京都市東山区清水一丁目294 TEL 075-651-1234
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
京福線(山王)下車徒歩約10分
QRコード

清水寺の開創は778年(宝亀9年)で、今から約1200年前のこと。古くから幅広い層の人々に親しまれ、古い史書や文学には、人々が清水寺参詣を願ふ様子も描かれている。境内には国宝・重要文化財を含む、30以上の伽藍や障が建ち並んでいる。1994年には、ユネスコ世界文化遺産「古都京都の文化財」の一つに登録された。源氏物語では、第4帖「夕顔」で、相思相愛だった夕顔を亡くした光源氏が清水寺の近くの寺で彼女を冥途に付す。拝観料:大人・高校生500円、小・中学生200円

夕顔

スタンプ設置場所:
本堂奥納経所
スタンプ設置時間:
8:00~17:00
景品交換:可



6 せいりょう じ
清凉寺
住所・連絡先 〒616-8407 京都市右京区嵯峨新田(東山側)46 TEL 075-861-0343
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
京福線(山王)下車徒歩約5分
QRコード



嵯峨(ちやうねん)上人が愛宕山を中国の五台山に模して、大清凉寺の建立をはかるが事ならず、弟子・盛算が、山麓の嵯峨天皇の子供で左大臣の源融の山荘を仏寺にした建禮寺の釈迦堂に、寛弘上人が宋から持ち帰った仏像を安置したのが創設である。源氏物語で主人公・光源氏が造営した「嵯峨の御堂」のモデルとされており、これは、清凉寺の本尊・釈迦如来像が古来より多くの人々の信仰を集めてきたこと由来している。なお、「嵯峨の御堂」は、光源氏が出家して最晩年を過ごす場所である。拝観料:大人400円、中学生300円、小学生200円

光源氏

スタンプ設置場所:
本堂拝観受付前
スタンプ設置時間:
9:00~16:30
景品交換:不可



11 しょう せい えん
涉成園
住所・連絡先 〒600-8505 京都市下京区西門外(山王)5(東山側)8
交通アクセス 京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
京福線(山王)下車徒歩約3分
QRコード

東本願寺の飛地境内地である。1641年(寛永18年)に江戸幕府3代将軍・徳川家光より、この地が寄進された。江戸時代末期に2回焼失し、現在の建物は明治時代に再建されたものである。庭園には四季折々の花が咲き誇り、その景観は江戸時代の儒学者である頼山陽によって「十三景」と称され、高い評価を得ている。源氏物語の主人公・光源氏のモデルとされている、平安時代前期の左大臣・源融が営んだ「六条河原院」の旧蹟だと伝えられている。庭園維持寄付金:大人500円以上、中学生250円以上

頭の中將

スタンプ設置場所:受付
スタンプ設置時間:
10月 9時~16時30分
11月 9時~15時30分
景品交換:可